

お客様のボーダレスなビジネスを 多角的にご支援する、 IBMグローバル・ビジネス・サービス (GBS)

日本アイ・ビー・エム株式会社
取締役専務執行役員
グローバル・ビジネス・サービス事業担当

ケリー・パーセル

Kerry Purcell



業種別展開と各種サービス展開で 総合的な価値を提供

IBMのグローバル・ビジネス・サービス (GBS)は、お客様のグローバル展開に向けた経営戦略の策定支援やソリューションの提案、実行を一貫してサポートしています。

GBSでは、製造、金融、流通、公共、通信などの業種別展開を縦軸とし、ストラテジー&アナリティクス (S&A:アナリティクスに基づく戦略策定と企業変革)、アプリケーション・イノベーション・サービス (AIS:アプリケーション開発)、アプリケーション・マネジメント・サービス (AMS:アプリケーション保守)などの各種サービス展開を横軸として、総合的な価値を提供しています。

国境を越えた ボーダレスなビジネスを展開

GBSの最大の特徴は、IBM自身がグローバルに統合された企業であることから、まさしく国境を越えたボーダレスなビジネスを展開していることです。また、先進的なハードウェア製品やソフトウェア製品、そして優秀な人材を豊富に抱えていることも大きな特徴です。

こうした特徴を生かし、国境を越えてグローバ

ルに展開するIBMの、各業種を深く理解したチーム、最新のテクノロジーに深い知見を持ったチームはもとより、ハードウェア製品やソフトウェア製品、研究開発の部門とも連携しながら、お客様のプロジェクトを推進してまいります。

そしてGBSでは、世界各国でそれぞれのプロジェクトに最適な人材をプロジェクト・メンバーとして参加させる取り組みを積極的に行っています。高度な知識や知見、ノウハウをここまで統合された形で、お客様に対してグローバルにサポートできる企業は他にないと自負しています。

プロジェクトをやり遂げる 気概と覚悟が重要

昨今、企業におけるビジネスのグローバル展開が一層活発になってきている中で、グローバルでさまざまなプロジェクトを推進できる人材の育成が強く求められています。こうした「グローバル人材」をどう育てるかについて、私自身の経験から言うと、一口にグローバルと言っても全世界津々浦々まであり、どこへ行こうとそこが「現場」になることを、まず肝に銘じておく必要があります。

現場では、言葉や習慣も違えば、スキルの差もあるでしょう。しかし、プロジェクトを進めていくためには、そうした困難を乗り越えながら自ら積極的にその現場へ入り込み、現地の人たちと一緒に「このプロジェクトを必ずやり遂げるんだ」という気概と覚悟が最も重要だということです。当然のことのようですが、これがなかなか難しいのです。特に若い人たちには、その気概と覚悟を持ってグローバルという現場にチャレンジしてもらいたいと思います。

大規模かつ複雑なグローバル・プロジェクトが増えつつある中で、それらをどう適切に管理し

ていくかが現在、GBSの大きなテーマとなっています。そうしたプロジェクトは、必要とされるスキルの多様性やその管理の難しさからトラブルとなるリスクも大きく、問題発生時のビジネスへの影響も大きいからです。そのためGBSでは、グローバルでこうしたプロジェクトを管理できるスキルを備えたプロジェクト・マネジャーの育成を目指した取り組みを行っており、その流れを受けて日本においても2012年から育成プログラムを開始しています。

ビジネスとテクノロジーの 両方に精通した人材育成へ

GBSは今後、GBSの縦軸となる業種別展開、横軸となる各種サービス展開の、いわばビジネスとテクノロジーの両方に精通した人材を育成していきたいと考えています。とりわけ、各種サービスを業種別に深く掘り下げていける人材を育てることで、幅広いお客様のお役に立ちたいと考えています。

また、プロジェクト・マネジャーの育成にはこれまでも取り組んできましたが、実際に現場でプロジェクトを推進しているプロジェクト・マネジャーと経営サイド、あるいはプロジェクト・マネジャー同士が、プロジェクト・マネジャーとしてのスキルやキャリアにフォーカスしたコミュニケーションをさらに促進していきたいと考えています。加えて、2年前に英国IBMで開発されたプロジェクト・マネジャー向けのグローバル研修を、今後本格的に展開していく計画です。

こうして私たち自身も一層磨きをかけ、お客様に貢献してまいりたいと考えています。GBSの今後の活動にご期待ください。